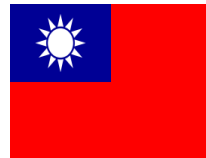
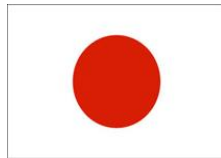
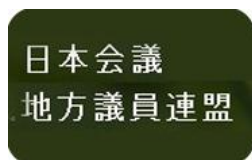


「台灣地方民代公益論壇」(TCF)
參加「日本會議地方議員連盟」2016 總會
會議紀實



時間：2016 年 3 月 13 日

地點：日本 東京

會議議程

- 一、 會議時間：2016 年 03 月 13 日
早上 10:00 出席「自民黨 黨代表大會」
下午 1:30 出席「日本會議地方議員連盟 2016 年度總會」
- 二、 會議地點：新高輪 Grand Prince Hotel
- 三、 TCF 代表團人員：林晉章理事長(圖 1、2)
台北市議員林亭君
桃園市議員王浩宇
日文翻譯祕書林政德
王議員助理柯士翎



林晉章理事長(中)
台北市議員林亭君(左)
桃園市議員王浩宇(右)
(圖 1)



TCF 代表團 5 人
(圖 2)

2016 年 03 月 12 日(星期六) 歡迎晚宴

- 一、 地點與時間：品川王子飯店 39 樓(理事長住宿飯店的頂樓)，6 點整。
- 二、 參加人員：
TCF 代表團人員：林晉章理事長
台北市議員林亭君
桃園市議員王浩宇
日文翻譯祕書林政德

王議員助理柯士翎

日方代表人員：神奈川縣議會議員、日本會議地方議員連盟會長
松田良昭
東京都議會議員 栗山欽行
東京都議會議員 小磯明
日本會議地方議員連盟事務局擔當 藤井勝
日本會議地方議員連盟事務局編集部 川崎由紀

三、經過

- (一)、早上自台北坐 9:00 華航飛機抵達日本羽田機場，再轉乘京急線 20 分鐘左右即抵達下榻之品川王子飯店。
- (二)、歡迎晚宴 6 點準時開始，我方座位面對東京夜景，享用美饌欣賞夜景，與友舉杯對談，日方細心安排令人感動。(圖 3、4)
- (三)、由松田良昭會長致開場白開始(圖 5)，因彼此已見過數面，熱絡交談不顯生疏。席間暢談彼此地方選舉之異同處，日方對我方兩位年輕地方議員的選舉背景大感興趣(台北市議員林亭君是台北市最年輕議員；桃園市議員王浩宇，2014 年以「我是中壢人」異軍突起，是六都市議員選舉最年輕的當選人)，直呼年紀輕輕即能擔任議員實屬不易，並直言此在日本是不可能的情形。
- (四)、交換禮物(圖 6)，最後由東京都議會議員栗山欽行(圖 7)致詞結束晚宴，大家留影紀念(圖 8)，舉杯結束晚上宴席。



(圖 3)



(圖 4)



(圖 5)



(圖 6)



(圖 7)



(圖 8)

2016 年 03 月 13 日(星期日)早上

- 一、 時間：早上 10 點出席觀摩「自由民主黨 黨代表大會」
- 二、 參加人員：林晉章理事長
台北市議員林亭君
桃園市議員王浩宇
日文翻譯祕書林政德
王議員助理柯士翎
- 三、 地點：新高輪 Grand Prince Hotel (會議廳可容納 4000 餘人)(圖 9)。
由下榻的品川王子飯店走路至新高輪會場只需 5-6 分鐘，惟因日本安倍晉三總理將出席自民黨黨大會，沿途站滿警衛(圖 10)，接我方

代表團去會場的東京都議會議員栗山欽行決定以計程車代步前往會場。



(圖 9)

- 四、 會議 10 點開始，我代表團抵達會場 9:30 時，已座無虛席(圖 11、12)，我方團員被安排在友好團體席(圖 13、14)，全場只有 TCF 是來自國外的友好團體。
- 五、 會場分 9 區的座位(圖 15)，約有 1000 人參加，其中 591 人代表中，有參眾議員 350 位，地方議員約有 150-200 人，其他各界代表及參議員候選人等等。地方議員參加完早上的自民黨大會後，下午就參加日本會議地方議員連盟(跨黨派)大會。
- 六、 安倍總理在早上自民黨大會時來會場演講，鼓舞黨員士氣，會議於 11:30 結束。午餐於飯店食用簡單美味的壽司套餐。



(圖 10)



(圖 11)



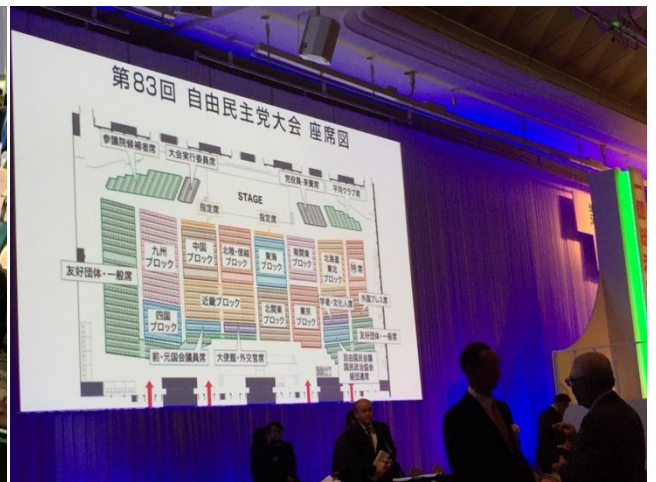
(圖 12)



(圖 13)



(圖 14)



(圖 15)

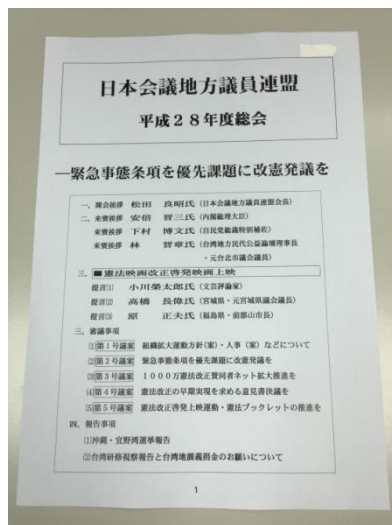
2016 年 03 月 13 日(星期日) 下午

- 一、 時間：下午 1 點出席「日本會議地方議員連盟 2016 年度總會」
- 二、 參加人員：林晉章理事長
台北市議員林亭君
桃園市議員王浩宇
日文翻譯祕書林政德
王議員助理柯士翎
- 三、 地點：新高輪 Grand Prince Hotel 3 樓
- 四、 下午 1 點參加「日本會議地方議員連盟」總會，150 人議員坐滿會議室，TCF 林晉章理事長將在此發表演說(演說內容請參附件 1)。林理事長被安排和安倍晉三總理及自民黨總裁代表下村 博文(眾議院議員)及一位參議員候選人(山谷えり子)坐在面對會眾的左邊第一排，右邊席位是松田良昭會長，演講席的後面還有兩排貴賓。TCF 其餘團員坐在會眾席第一排，利用演講空檔時間，松田會長特別介紹 TCF 團員。(圖 16)



(圖 16)

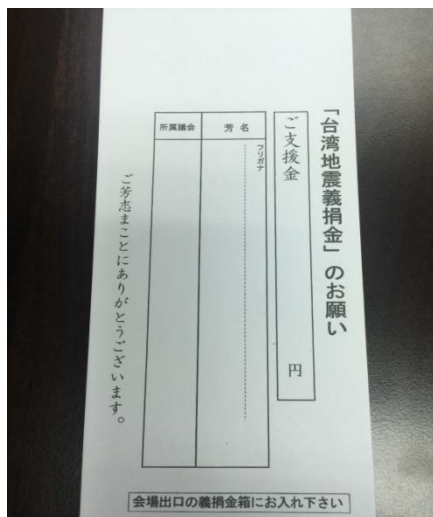
- 五、 原先安排演說的順序(圖 17)，第一是安倍晉三總理，次由自民黨總裁代表下村 博文(眾議院議員)，最後才由林理事長演講，後因安倍總理遲到，所以在林理事長發表 15 分鐘演說以後，隔了數分鐘安倍總理才進場，安倍總理演講完準備起身離開會場時，全場起立歡送，松田會長此時特地請安倍總理留步，請林理事長過去並特別介紹來自台灣的林理事長給安倍總理認識，雙方握手寒暄。



(圖 17)



六、此次會議時逢日本 311 大地震紀念，因此在這次早上下午兩場會議中，大會除默哀 311 受難者之外，兩次會議均特別提到台灣當年的鼎力相助，令日本人銘記五內，讓來自台灣的團員也感到非常光榮。在這次會場裡，團員也發現，會場裡設有「台灣地震義捐金」，原來是為了幫助農曆年期間發生在台南的地震而設，看到此景分外感動。(圖 18、19)



(圖 18)



(圖 19)

七、日本福島縣郡山市市議員諸越 裕(圖 20, Morokoshi Hiroshi, 左 1), 在台灣地方民代公益論壇代表團起身離開會場之際，趕緊跑出會場向代表團表達五年前 311 地震災害台灣的热情捐款相助，彼此交換名片寒暄致意。



(圖 20)

- 八、 下午會議 1 點開始，三位演講完隨後上演「憲法改正啟發」電影，播放完畢，因其下一議程係「議案審議」，我團員先行告退，全體拍手歡送我們離開。

【附件 1】

2016 年 03 月 13 日「台灣地方民代公益論壇」林晉章理事長 在「日本會議地方議員連盟」平成 28 年度總會演講內容

【日文】

松田会長、各議員先生、ご来賓の皆様、こんにちは。

台湾から参りました林晉章と申します。かつて台北市議会の議員として 25 年間に務めており、その間に東京都議会、大阪府議会を訪問したことがあります。また、台北市議会議長に協力し、台湾にて日本各地からの議員先生、特に台湾のことに関心をよせていただいた自民党の議員先生、訪問団を数多くお迎えすることが出来ました。現在は「台湾地方民代公益論壇」（略称は、TCF）の理事長を務めております。

ご存知のように、そもそも台湾は清朝(当時の中国)の管轄でしたが、1895 年に日本に割譲し、1945 年終戦まで日本の統治下にあり、第二次世界大戦の終焉に台湾は日本から中華民国(当時の中国)に返還されました。その後、中国本土に国共内戦が起こり、中国共産党は中国大陸を完全に支配、1949 年 10 月 1 日に北京にて中華人民共和国を設立し、中華民国は敗戦のため、政府を台湾へと移転しました。

1952 年 4 月 28 日サンフランシスコ講和条約(中国、ロシアを除く)が発効する同日の 7 時間前に、日本政府は台北にて中華民国政府と「日華平和条約」(通称「日華条約」)を締結しました。1971 年 10 月 25 日付国際連合総会決議 2758 によって、1972 年 1 月 1 日から、国連での中国代表権が中華民国から中華人民共和国へと移ることとなりました。日本も 1972 年 9 月 29 日に中華人民共和国と国交回復すると同時に、1952 年 4 月 28 日に締結した「日華平和条約」も失効されました。1978 年 8 月 12 日、日本は中華人民共和国と「日中平和友好条約」を締結しました。

台湾は、国際的な帰属問題について、かなり厳しい状況に直面しているにも関わらず、1950 年より地方自治を実施し、地方首長と地方議員の直接選挙を行ってきました。私は 1989 年から台北市議員を務めており、台湾地方自治の実施 60 数年のうち、約三分の一の 20 数年間を経験してきました。この 20 数年の間、中華民国の立場は国際的にあらゆる場で阻害されきたにも関わらず、台湾の地方議員である台北市議会は、世界各国の地方議員、特に日本各都・道・府・県の議員との交流は年々

増えきています。

中華民国は、台湾に移転後の1950年から地方選挙の実施が始まり、65年が経ちましたが、数百年の歴史をもつ欧米には到底およばないでしょう。台湾では、国会議員を除いて、地方選挙は日本と同じように二級制になります。例えば、2014年の場合、台湾の面積は36,193平方キロメートル、人口は23,465,004人(2015年8月時点での統計)であり、6直轄市と16県には、合計907名の県・市議員が選ばれ、第二級の民選郷鎮市民代表(日本の市、町、村に相当)は、合計2323名が選出されました。

私は、25年間台北市議員を務めておりましたので、台湾地方自治歴史65年間の三分の一くらいを経験いたしました。台湾では、民主制度を行っている国と言えども、中央集権に偏りすぎます。その原因として、地方議会で作った法案の権限は、中央が立法したものに奪われたことが挙げられます。私は、2010年にTCFという台湾地方(市)民代(表)社団組織を設立いたしました。その目的は、地方民代の力を結合した上、中央に申し入れ、地方の権限を獲得するためでした。

TCFには、ホームページのほか、FaceBookをも立上げ、台湾全国907名議員の中、720名がFaceBookに加入してくれました。海外の地方議員もFaceBookに加入してくださり、例えば、日本会議地方議員連盟もその中の一つです。地方議員連盟の松田会長からも、「どのようにして私のことをお知りになりましたか」と不思議がって、聞かれたことはありましたが、やはりFace Bookでした。

もちろん、現在、グローバルな国会議員組織は既に存在しており、国に自分の意見を反映している全国的な地方議員組織をもっている国も沢山あります。例えば、ヨーロッパでは欧州区域議会連合会CALRE、アメリカでは全米州議会連合会NCSL及びブラジルの全国州議会連盟UNALEがあります。但し、未だにどこでも世界各国の地域地方立法機構を統合するようなグローバルな組織がないので、敢えて「全球地方議員論壇」(Global Councils Forum, 略称GCF)を発足させたわけですが、この構想を実現させるため、我々は2014年にヨーロッパのCALRE、アメリカのNCSL、及び日本の日本会議(全国)地方議員連盟を招いて、TCF主催の「全球地方議員論壇」に参加してもらいました。また、去年2015年も再びCALRE、「日本会議地方議員連盟」及びフィリピンのフィリピン議員連盟PCLを招いて、「全球地方議員論壇」に参加するとともに、フランス、韓国、中国の学者をも同席してもらい、意見を交換しました。

2015年8月の会議には、CALRE 主席 Cattaneo 様のご提案により、ヨーロッパの CALRE とアメリカの NCSL は、2015年8月あけにお互いに合意の元、協力覚書を締結いたしました。アジア地域の日本、台湾、フィリピンには、既に「地方議員聯盟」という組織があり、そして、これから立ち上げる予定のマレーシアと韓国がありますので、先ずは、アジア地域で「アジア地方議員論壇」(Asia Councils Forum, 略称 ACF)を設立し、将来に「アジア地方議員論壇」とヨーロッパの CALRE、アメリカの NCSL と共同で「全球地方議員論壇」を設立します。この提案は、会議に同席したメンバー全員で合意いたしましたので、フィリピン議員連盟 PCL の主催で 2016年12月9日にマニラにて「第一回アジア地方議員論壇」の開催を決定いたしました。また、日本会議地方議員連盟松田会長からも 2019年ワールドカップか 2020年東京オリンピック時に合わせて、「アジア地方議員論壇」の開催を希望するとおっしゃいました。

2014年と 2015年、台湾にて TCF 年会を開催するときに合わせて、「全球地方議員論壇」をも開催いたしました。神奈川県議員兼日本会議地方議員連盟会長松田良昭先生及び東京都議員栗山欽行先生は 2度に渡りご臨席を賜り、ご講演いただくとともに、日本会議地方議員連盟の組織紹介とご助言をいただき、参加者の皆様にとっても大いに勉強になり、TCF 論壇にとっても光栄なことと存じます。

2015年10月末、ヨーロッパ CALRE の年会及び世界論壇に参加するため、私はイタリアのミラノに招かれ、松田良昭会長も訪問団を率いて出席いたしました。他国で長年の友人と偶然に出会ったような気持ちで、感激で胸が一杯になりました。松田会長は、積極的に国際会議に駆け回っておられて、貴重な経験と情報を吸収されました上、自分の国・所属組織に貢献されていることに対し、こころから感心しております。また 今日に開催された 貴会 2016年総会に参加できたのも、松田会長よりお招きしていただいたお陰です。

このような重要な会合に、スピーチをさせていただくことは、誠に恐縮でございますが、TCF 組織の理念及び過去に TCF の活動を皆様に報告するとともに、今後 貴会との協力が一層に強化できることであれば、幸いと存じます。

また、今年(2016年)フィリピン・マニラにて第一回「アジア地方議員論壇」開催する際、皆様とお会いできるようにこころから期待しております。

今まで、TCF をご指導していただき、こころから御礼申し上げます。



今後も引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。
ありがとうございました。

【中文】

松田會長、各位貴賓、各位議員女士先生們大家午安、大家好：

我是來自台灣的林晉章，曾擔任台北市議會議員 25 年，曾拜訪過東京都議會及大阪府議會，也曾在台北市議會協助議長接待過不少來自日本各地方議會議員訪問團，尤其是友台議員或自民黨的友台議員。目前擔任台灣地方民代公益論壇（英文簡稱 TCF）的理事長。

大家知道，台灣原屬中國清朝政府所管轄，後於 1895 年割讓台灣予日本統治至 1945 年二次大戰結束，再將台灣歸還當時中國的中華民國政府，後中國大陸發生國共內戰，中華民國中央政府戰敗遷移至台灣，共產黨則在 1949 年 10 月 1 日在北京成立了中華人民共和國。1952 年 4 月 28 日舊金山合約（不含中、俄）生效前七小時的同天，日本政府和中華民國政府在台灣台北簽署了「中日合約」（又名「台北合約」）。1972 年 1 月 1 日中華民國在聯合國的代表權依照 1971 年 10 月 25 日聯合國 2758 號決議文由中華人民共和國取代，日本於 1972 年 9 月 29 日與中華人民共和國建交，同時廢止 1952 年 4 月 28 日與中華民國簽訂的「中日合約」，並於 1978 年 8 月 12 日與中華人民共和國簽署中日和平友好條約。

台灣在國際上雖面對如此困難的國際定位問題，但仍於 1950 年開始實施地方自治，選舉地方首長及地方民意代表，我在台灣實施地方自治的六十幾年間，自 1989 年擔任台北市議員以來二十幾年間，可以說參與了台灣地方自治三分之一的時間，在這二十幾年間，中華民國台灣官方在國際上到處受阻，但做為各國城市與城市的交流，尤其是地方議員的台北市議會則與世界各地地方議會議員交流不減反增，尤其是與日本各地方議會議員的交流。

台灣的中華民國在退居台灣後的 1950 才開始舉辦地方選舉，短短 65 年的選舉歷史自然無法與數百年歷史的歐美相比。台灣除了國會議員以外，地方選舉與日本相同，均屬兩級制，以 2014 年為例，台灣面積 36,193 平方公里，人口 23,465,004 人（2015 年 8 月官方統計）6 個直轄市及 16 個縣共選出了 907 位縣市議員，而第二級的民選鄉鎮市民代表共 2323 位。

本人擔任 25 年的台北市議員，經歷台灣地方自治 65 年歷史中的三分之一以上，雖然台灣已是一個實施民主制度的國家，但也深知目前地方自治仍偏向中央集權，原因乃是中央立法限制了地方議會所立的法律位階受到嚴重剝奪。因此我在 2010 年成立 TCF 之台灣地方民代社團組織，目的

就是希望結合地方民代向中央反應爭取地方權限。

TCF 除了架設網站也建立 FaceBook 平台，全國 907 位議員也有 720 幾位是 FaceBook 朋友，有國外地方議員也是我們 FaceBook 的朋友，像日本會議(全國)地方議員連盟就是，所以松田會長曾經好奇問過我們當初如何找到他，其實就是透過 Face Book。

我們也都了解，世界上目前有全球性的國會議員組織，另外很多國家都有全國性的地方議員組織可以向他們自己的國家反映意見，如歐洲的歐洲區域議會聯合會 CALRE、美國的全美州議會聯合會 NCSL 及巴西的全國州議會連盟 UNALE，但迄今世界上仍無一個整合各國區域地方立法機構聯合會的全球性的組織，這就是我發起籌組「全球地方議員論壇」(Global Councils Forum, 英文簡稱 GCF)的原因。為了落實這個想法，我們在 2014 年邀請 CALRE、NCSL 及日本的日本會議(全國)地方議員連盟來參加由 TCF 主辦的「全球地方議員論壇」，去年 2015 年再度邀請 CALRE、「日本會議(全國)地方議員連盟」及菲律賓的菲律賓議員連盟 PCL 來參加「全球地方議員論壇」，也邀請法國、韓國、中國的學者一同出席發言。

在 2015 年 8 月的會議中，CALRE 主席 Cattaneo 先生建議，歐洲的 CALRE 與美洲的 NCSL 在 2015 年 8 月初已達成共識，雙方簽署合作協議，既然亞洲地區已有日本、台灣、菲律賓的地方議員聯盟組織及即將籌組的馬來西亞及南韓，可以亞洲地區先成立「亞洲地方議員論壇」(Asia Councils Forum, 英文簡稱 ACF)，將來「亞洲地方議員論壇」再結合歐洲的 CALRE 與美洲的 NCSL 成立「全球地方議員論壇」。此建議經過與會人員一致同意，決定由菲律賓議員連盟 PCL 在 2016 年 12 月 9 日在菲律賓馬尼拉舉辦第一屆亞洲地方議員論壇，松田會長也表示希望能在 2019 年世界足球賽或 2020 年東京奧運舉辦「亞洲地方議員論壇」。

我們在 2014 年及 2015 年在台灣舉辦 TCF 年會同時也舉辦「全球地方議員論壇」，兩次會議均邀請神奈川縣議員暨日本會議地方議員連盟會長松田良昭先生及東京都議員栗山欽行，兩位先生全程參加並發表精闢演說，介紹日本會議地方議員連盟組織並提供寶貴意見，使與會者受益匪淺，增添 TCF 論壇不少光彩。

2015 年 10 月底，我應邀至義大利米蘭參加 CALRE 年會暨世界論壇，松田良昭會長也率團應邀前往，多年情誼在他鄉相遇，內心激動並感欣

慰。松田會長為自己國家的地方議員素質與專業，以積極的態度努力參與各種國際會議汲取經驗，為所屬組織貢獻心力，殊屬難能可貴。在幾次會議場合，松田會長提及希望能夠邀請我在今日到東京參加 貴會 2016 年總會。

此次我應邀在此重要場合發表演說，除闡揚 TCF 組織理念及簡短敘述過去 TCF 的活動外，也希望藉此機會能夠加強與 貴會的合作關係，更期待 2016 年在菲律賓馬尼拉舉辦的第一屆「亞洲地方議員論壇」能跟各位見面。

過去兩年謝謝，來年亦請多多指教，TCF 再度感謝 貴會的指導與協助。